

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）四三三二・七二〇七

三里塚・ジェット闘争貫徹！「国鉄35万人体制」粉碎！

朝鮮・中国-アジア人民の告発糾弾に真正面からこたえ、 日本帝国主義の軍事大国化-アジア再侵略 絶対阻止！

侵略の歴史事実をゆい曲し教科書検定問題のつきつけたもの

下の写真の一枚一枚を、告発の言葉の一語一語を真正面から直視しなければならぬ。この一枚の写真、この一つの言葉のかけに、この何十万倍、何百万倍の、日本人の手によるアジア人民への焼き尽し、奪い尽し、殺し尽す（三光作戦）おびただしい虐殺・差別抑圧・民族と民族文化抹殺の蛮行がくり返されたのだ。流された血の河と同じように、ぬぐってもぬぐっても決してぬぐいきれないこの歴史的犯罪は、あくまでも事実である。

朝鮮・中国人民からの告発・弾劾は100%正当だ！

この蛮行に対するアジア民衆の必死の抵抗や独立運動さえをも「暴動」「騒動」「暴徒」ときめつけ、逆に、日本軍の蛮行はそれへの正当防衛の「鎮圧出動」などと白黒逆転させる記述。「侵略も進出も単なる用語の統一」とか「文部省は助言したのみ。変えたのは出版社の自主的判断」とかの卑劣な言いがたれでごまかそうとしたり、そればかりか「両国からの抗議は内政干渉だ」「高度の外交交渉で政治結着を」という日本政府・文部省その他支配者共の居直りの態度は断じて許されない。怒りをもって粉碎・打倒しなければならぬ。

「教科書問題抗議」は、日本の軍大化＝侵略戦争総動員体制攻撃急進への警鐘・弾劾

この政府・支配階級の許せない居直りこそ、アジア再侵略への明確な意図をむき出しにしたものである。いや、今日、それは単なる「意図」

（裏へ続く）

中国外務次官の発言内容

中国外務省の呉次官が五日、鹿取六使に宛てた発言は次の通り。
一、日本外務省が高校、小学校の教科書検定で日本帝国主義による中露侵略の歴史を改ざんしたことについて中国が抗議したことは、日本側が中国側に同意を寄せ

た。しかし、その説明の中で、日本外務省は教科書検定における誤りについて日本側が正しい指摘を回避した。逆に責任を回避しようとしてさまざまな言ひ釈をした。この態度は最も軽蔑的なものである。中国側は遺憾を述べざるを得ない。

一、中国側は、日本帝国主義の中国への侵略の歴史を認めるか否かは中日関係の進展の原則の重要な問題であると主張する。中

国と日本の関係正常化の際、中国と日本の政府間交渉により、この問題の明確な説明が共同声明でなされた。歴史的事実を厳格に認識し、そこから教訓を引き出し、次代を正しく教育することは、中日関係の発展に必要不可欠な前提条件である。

一、われわれの観点からすれば、日本政府は、教科書の検定に際しては、歴史的事実を正確に記述し、中日共同の原則から逸脱しない責任を持っている。しかし

するものであり、中日友好の基礎を揺るがすものである。これは単なる日本の内政問題と見なすことはできない。

一、侵略戦争の教訓として、侵略を受けた歴史をわれわれが公言するのは極めて当然のことである。そうする正当な権利がある。

一、「日本の内政への干渉」という非難は、大衆の注意をそらすためのものである。しかしこの非難は、歴史を改ざんした罪を包み隠さずつかつか中国人のより強い反対を呼び起すだけである。

一、歴史の事実を正しく、中日共同の原則を堅持し、中日友好関係を維持し発展させるため、われわれは、中国側が教科書の検定にあたり、日本外務省の誤りを正す必要を指摘するであろうと望んでいることを表明した。（中国通信）

歴史をわい曲す 24項目の記述発表

【ソウル五日日韓特派員】日本の文部省に於ける韓国文教委員は、五日開かれた韓国文化文化委員会で、記述内容が問題視される日本の教科書十冊と委員の意見を明らかにすると同時に、二十四項目の誤りを指摘し、韓国歴史の歪曲を無視するものから始まり、日本帝国主义の侵略を糾弾（こと）し、たり美化する事例が多い」と厳しく批判した。同委員は、この問題の記述を教科書検定資料として日本政府に伝える意向という。

韓国文教委員が指摘した問題の記述は以下の通り。

【近代史】韓国の歴史研究機関が指摘した(1)日本の朝鮮半島侵略(2)韓国の主権奪取(3)独立運動弾圧(4)一八七七年の壬午の軍乱は開化政策に対する保守勢力の反発と(5)朝鮮半島に出兵した日本への(6)死傷者数(7)にもかわらな(8)政府に対する反乱」と記述。東洋史

【中世史】倭寇の略奪行為を一種の貿易行為と見なしている。また、高麗王朝の崩壊の原因の一つにこの倭寇の海賊行為を挙げている。このほか(9)豊臣秀吉の朝鮮出兵の通信使などに関する記述が問題になる。

【近代史】韓国の歴史研究機関が指摘した(1)日本の朝鮮半島侵略(2)韓国の主権奪取(3)独立運動弾圧(4)一八七七年の壬午の軍乱は開化政策に対する保守勢力の反発と(5)朝鮮半島に出兵した日本への(6)死傷者数(7)にもかわらな(8)政府に対する反乱」と記述。東洋史

【新聖日東京】五日の聯合通信によると「日本教科書わい曲の是正を要求する決起大会が五日、大田(金海南道)、大邱、金泉、浦項(以上慶尚北道)、南原、浦項(同、金羅北道)、仁川(京畿道)の各地で開かれ、大田では市民五千人余が参加した。



蛮行告発の写真特集
日帝の蛮行・繰り返してはならない「歴史の現場」韓国の有力朝刊紙「朝鮮日報」は五日、植民地時代の日本の蛮行を証する写真の掲載に出た。一、二、三、運動集団被弾、一、神社参拝強制、一、日本刀での公開処刑、一、切り落とされた首、愛国者たちの集団投獄、一、六枚の写真が日本の歴史教科書問題を告発する。(AP)